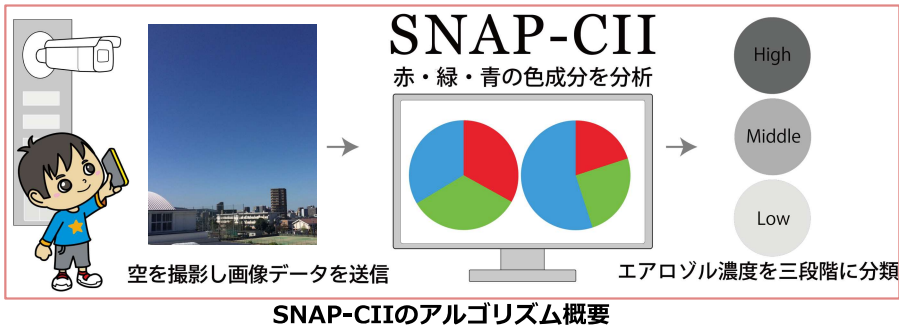


SNAP-CII ~空の写真を撮影し、空気のキレイさを測定しよう~

概要

空気中のエアロゾルは、健康被害や気候変動予測等、生活に直結する物質です。
SNAP-CIIは、画像解析と機械学習により、空写真からエアロゾル濃度を測定し、「スマホ1つで誰でもエアロゾル観測ができる」を実現します。



エアロゾルとは
空気中に浮遊する粒子の総称
(PM2.5や花粉等)

エアロゾル濃度分類の原理
太陽光の散乱の違いをAI学習
エアロゾルが少ない場合
空気分子により青の光がより多く散乱→空は青く
エアロゾルが多い場合
エアロゾルにより赤・緑・青の光が同程度の強さ
で散乱→空は白や灰色に見えます



環境問題への
意識改革

サステナブル
社会の実現

特徴

- PM2.5等エアロゾル濃度を3段階で推定
- エアロゾルによる太陽光の散乱特性を定量化
- 機械学習により、正解率75%を達成

ユースケース

- 住む町の空のキレイさに科学的根拠を付与
→ 観測体験による教育活動
観光誘致PRや安全で健康な生活の支援 等

今後の展開

- デモアプリを用いた体験型アウトリーチ
- インドや火星大気への応用

SNAP-CIIに興味を持って頂いた方へ →



【お問合せ先】

Beyond Connectivity研究開発推進ユニット テラヘルツ研究センター テラヘルツリモートセンシング研究室 佐藤知紘
Mail : tosato@nict.go.jp

NICTオープンハウス2026

Copyright © 2026 NICT All Rights Reserved.